

百花競演！ 光風会・工芸部

長い伝統ある光風会・工芸部は、新しい時代の中で、堅実なモダニズムを追求した「ものづくり」を展開しています。春に六本木の国立新美術館で開催される光風会展は100回以上を数え、絵画部と共に陶芸・金工・染色・織・皮革・漆芸・紙芸・七宝・人形・木工・竹芸のほか、さまざまな素材による自由に表現された作品が展示されます。また、展覧会のほか研究会や講習会を開催し、後進の育成にも力を入れています。光風会・工芸部は、多種多様な工芸活動を行うコミュニティなのです。

毎春(4月)に
東京六本木の
国立新美術館で
入選・受賞
作品を展示！



光風会は、明治45年白馬会解散後に、杉浦非水(近代日本のグラフィックデザイナー)他若い7人の発起により設立された美術(絵画・工芸)団体です。当時の設立趣意書にある「隠れた無名の花を自由に紹介する広い花園」の志をしっかりと引き継ぎ、毎年展覧会や講習会を開催しています。

工芸部特集

最新情報はホームページで
kofu-kai.jp